

財政収支(1-12月)

(1) 1-12月の歳入は前年同期比66.5%増、税収は同62.3%増。歳出は前年同期比63.6%増。
(2) 結果として1-12月の財政収支は21,061.45億リラの赤字(前年同期比52.6%増)、プライマリーバランスは8,356.90億リラの赤字(同18.4%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2023年1-12月(A)	2024年1-12月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	52,075.66	86,708.63	66.5%
税収	45,011.09	73,048.63	62.3%
所得税	6,940.44	15,275.88	120.1%
法人税	7,863.18	8,901.98	13.2%
付加価値税(国内及び輸入)	14,550.06	23,265.72	59.9%
特別消費税	9,281.97	14,512.59	56.4%
その他税収	6,375.44	11,092.46	74.0%
税外収入等	7,064.57	13,660.00	93.4%
歳出(b)	65,880.16	107,770.09	63.6%
人件費	13,245.84	26,659.63	101.3%
物品及びサービスの購入	4,538.95	7,448.65	64.1%
経常移転	23,738.47	38,635.99	62.8%
資本支出	5,440.11	9,431.00	73.4%
支払利子(c)	6,746.15	12,704.55	88.3%
その他歳出	12,170.64	12,890.27	5.9%
財政収支(a-b)	▲ 13,804.50	▲ 21,061.45	▲ 52.6%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 7,058.35	▲ 8,356.90	▲ 18.4%

経常収支(1-11月)

(1) 1-11月の経常収支は、56.06億ドルの赤字(前年同期は386.73億ドルの赤字)。
(2) 1-11月の貿易収支(物品)は500.34億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は455.09億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

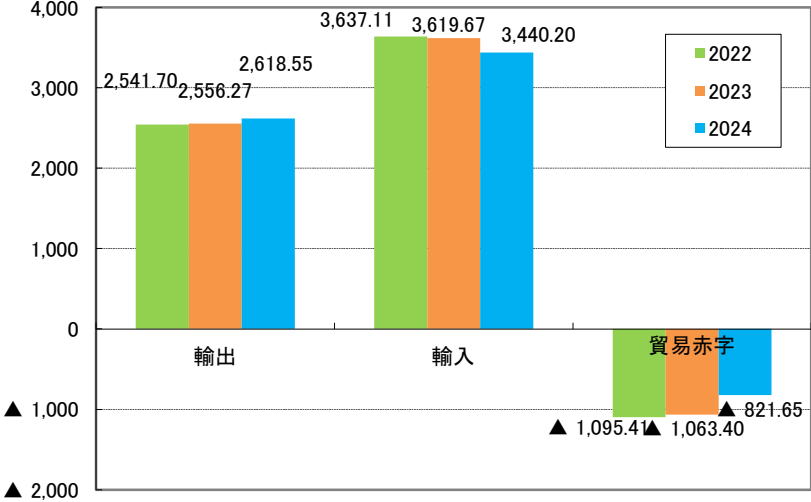
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2023年1-11月(A)	2024年1-11月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 386.73	▲ 56.06	85.5%
貿易収支(物品)	▲ 817.40	▲ 500.34	38.8%
サービス収支	538.39	580.38	7.8%
旅行収支	400.15	455.09	13.7%
第1次所得収支	▲ 111.80	▲ 140.26	▲ 25.5%
第2次所得収支	4.08	4.16	2.0%
労働者送金	1.89	1.14	▲ 39.7%
資本移転等収支	▲ 1.96	▲ 1.17	40.3%
金融収支	▲ 490.12	▲ 215.08	56.1%
直接投資	▲ 46.64	▲ 38.38	17.7%
証券投資	▲ 58.55	▲ 124.12	▲ 112.0%
その他投資	▲ 344.88	▲ 73.08	78.8%
外貨準備	▲ 40.05	20.50	151.2%
誤差脱漏	▲ 101.43	▲ 157.85	▲ 55.6%

貿易収支(1-12月)

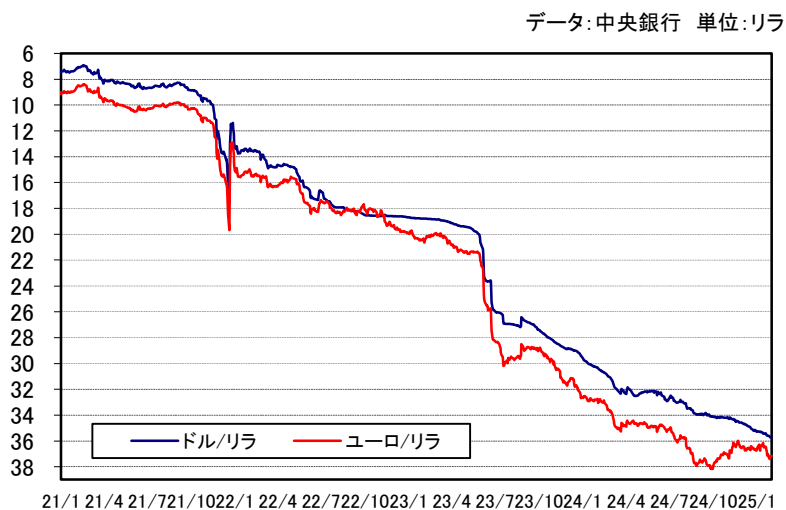
(1) 1-12月の輸出額は2,618.55億ドル(前年同期比2.4%増)、輸入額は3,440.20億ドル(同5.0%減)となり、この結果、貿易収支は821.65億ドルの赤字(同22.7%赤字幅縮小)となった。
(2) 1-12月の輸出額におけるEU向けの割合は41.4%(前年同期は40.8%)、輸入額におけるEUからの割合は32.1%(前年同期は29.3%)となっている。

データ:統計局 単位:億ドル



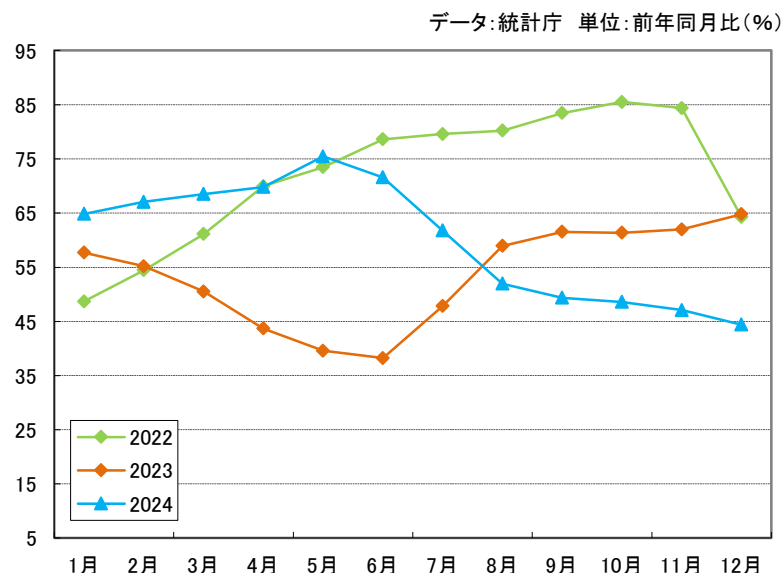
為替(2025年1月)

米国の金融政策がタカ派と意識されドル高が進んだため、対ドルではリラはやや減価した。対ユーロでは、先月から大きな変動は無し。月末時点では1ドル=35.76リラ(前月末比1.37%安)、1ユーロ=37.15リラ(同1.12%安)となった。



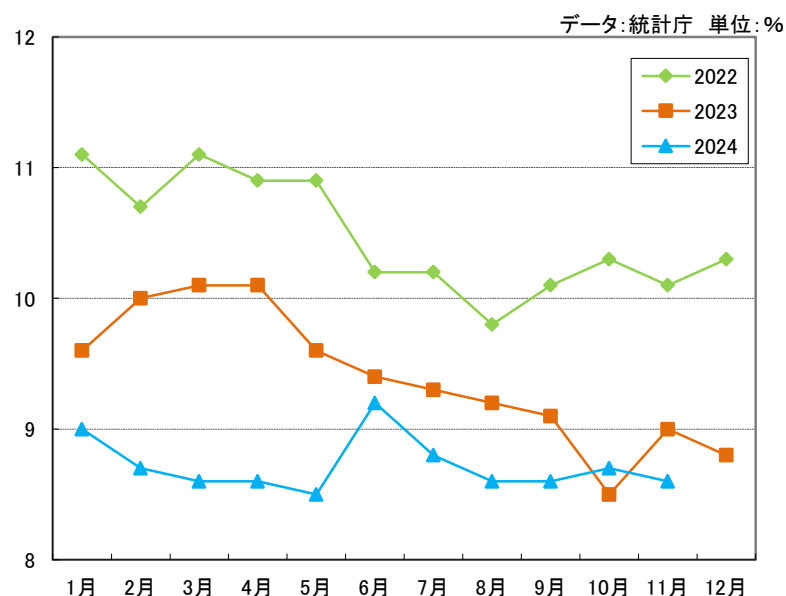
消費者物価上昇率(12月)

- (1) 12月の消費者物価は前年同月比44.38%増、前月比1.03%増。
- (2) 項目別にみると、前年同月比では教育が91.64%となり最も上昇した。前月比では家具及び家庭用品が2.78%となり最も上昇した。
- (3) 国内生産者物価指数(12月)は前年同月比28.52%増、前月比0.40%増となった。



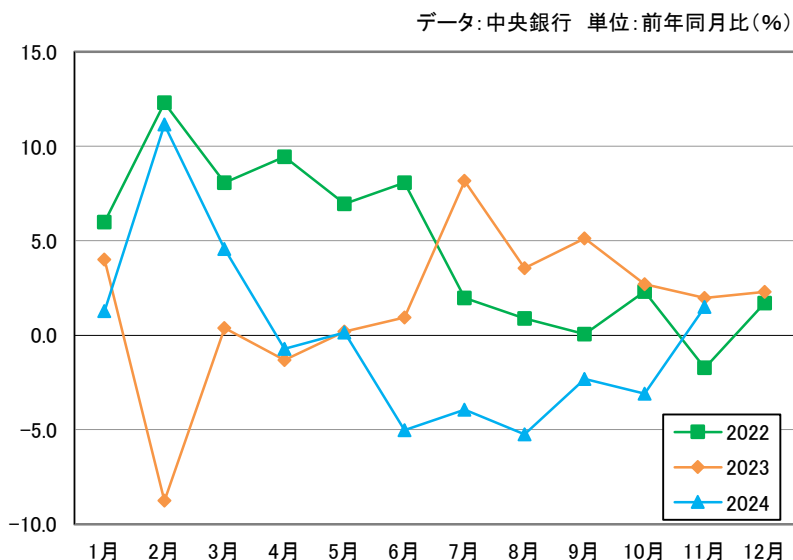
失業率(11月)

- (1) 11月の失業率(季節調整後)は8.6%となり、前月から0.1ポイント低下。
- (2) 労働力人口は3,582.0万人、就労者数は3,274.8万人、失業者数は307.2万人。
- (3) 男性の失業率は7.0%、女性は11.7%。若年層(15-24歳)の失業率は15.8%となっている。



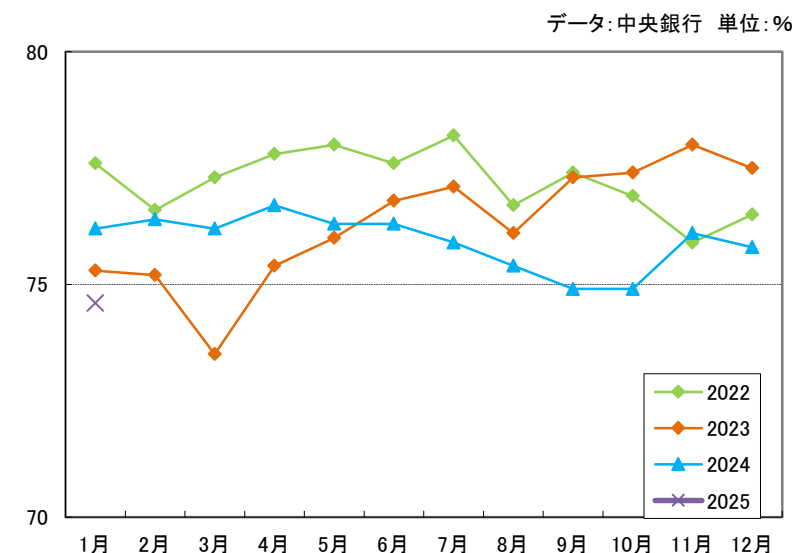
鉱工業生産(11月)

(1)11月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)1.5%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比0.8%減、資本財が同0.8%増、中間財が同0.5%増となった。



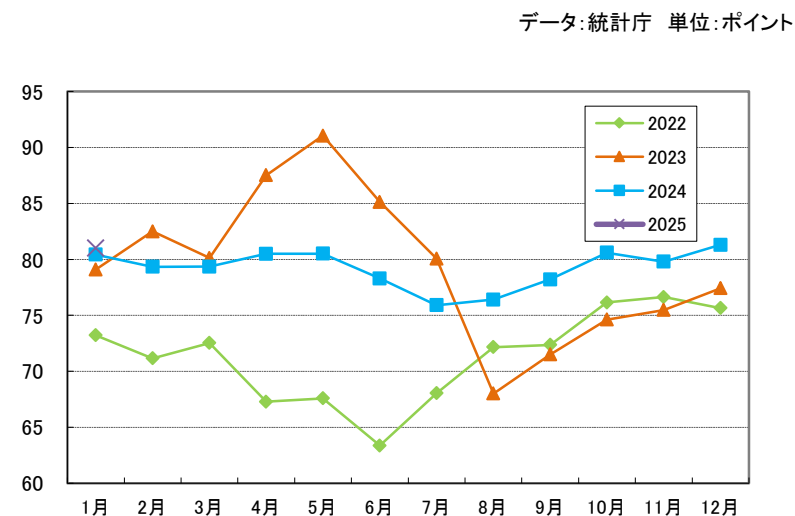
設備稼働率(2025年1月)

(1)1月の設備稼働率は74.6%となり、前年同月から1.6ポイント低下。前月から1.2ポイント低下。
 (2)製造業の分野別では、紙・紙加工品製造業(82.7%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(60.8%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(2025年1月)

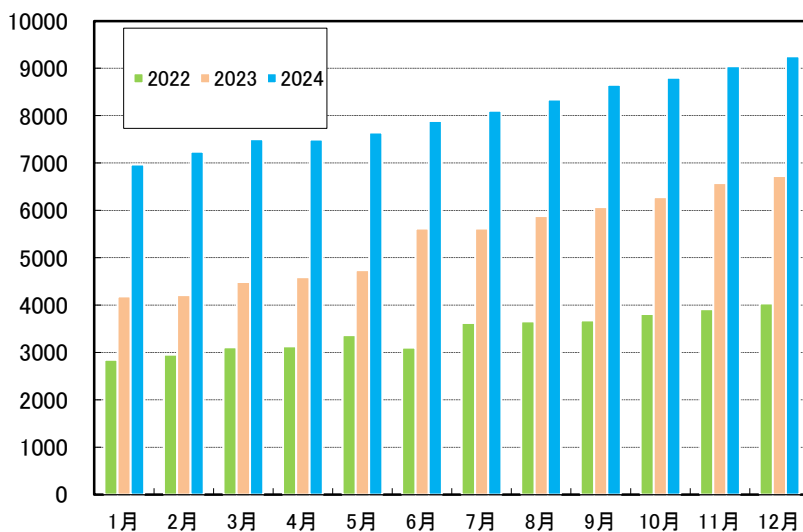
(1)1月の消費者信頼感指数(季節調整値)は81.0ポイントとなり、前月から0.3ポイント低下。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の一般経済状況見通し」は前月から上昇、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から低下。



中央政府債務残高(12月)

(1) 12月末時点での中央政府債務残高は9兆2,508億リラとなり、前年同月比37.6%増、前月比2.3%増となった。
 (2) また、国内債務比率は53.6%、自国通貨債務比率は43.9% (2023年末は35.8%) となっている。
 (3) なお、債務残高のうち円は0.4%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

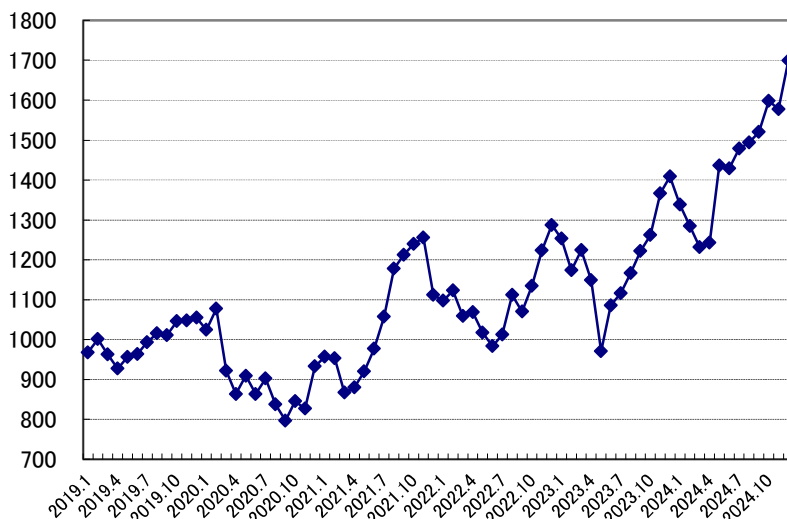
データ: 財務省 単位: 10億リラ



外貨準備高(12月)

(1) 12月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,699.95億ドルとなった。
 (2) 前月から1225.7億ドル増加した。

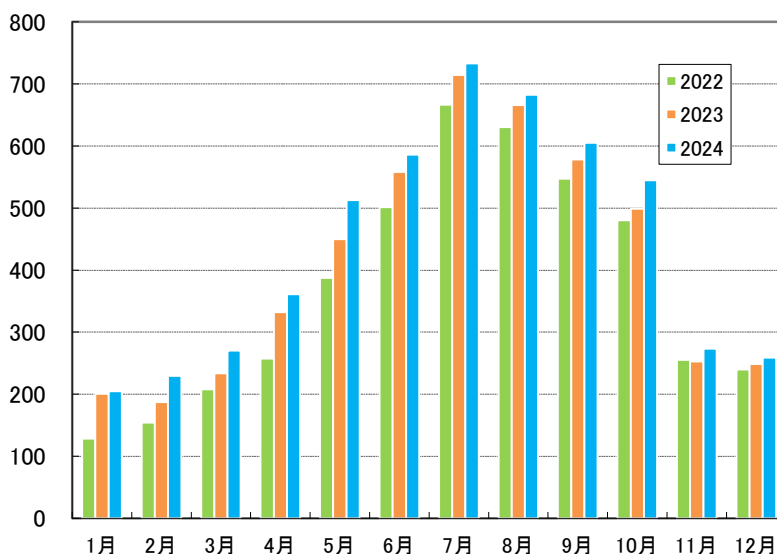
データ: 中銀 単位: 億ドル



外国人訪問者数(12月)

(1) 12月の外国人訪問者数は2,588,856人で、前年同月比4.23%増。日本は11,087人であった(前年同月は7,671人)。
 (2) 国別ではドイツが最も多く、255,622人で全体の9.87%を占め、以下、イラン(255,567人)、ブルガリア(233,270人)となっている。

データ: 文化観光省 単位: 万人

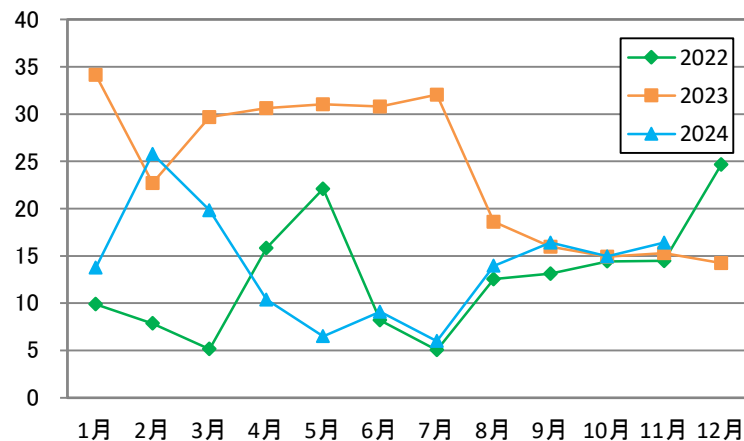


小売売上高(11月)

(1) 11月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)16.4%増、前月比(季節及び日数調整後)1.9%増。

(2) 内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比11.1%増、情報・通信機器が同40.9%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

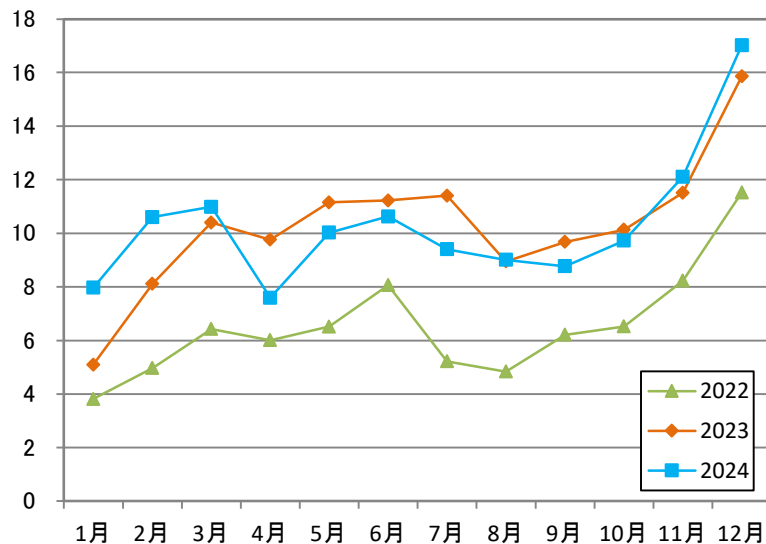


新車販売台数(12月)

(1) 12月の新車販売台数は170,249台で前年同月比7.3%増。

(2) 12月の内訳は乗用車が134,811台(前年同月比6.6%増)、小型商用車が35,438台(同9.9%増)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(12月)

(1) 12月の住宅販売戸数は212,637戸で前年同月比53.4%増となった。

(2) 12月は新築が76,629戸(前年同月比49.5%増)、中古が136,008戸(同55.7%増)。

(3) 12月の住宅ローンでの購入は23,277戸(前年同月比285.3%増)、その他が189,360戸(同42.9%増)。

データ:統計庁 単位:万戸

